

第2学年 美術科学習案内

①全題材共通の評価規準

【関】 関心・意欲・態度	①元気に挨拶をし、遅刻・忘れ物・私語をせずに授業に取り組むことができる ②美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に授業に取り組むことができる。
【発】 発想・構想の能力	①見たり、感じたり、イメージしたことからテーマを生み出すことができる。 ②創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(ii) ①美的感覚を働かせて構成や装飾を考え、表現の構想を練ることができる。 ②伝える・使用するための機能を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。(i、iii)
【創】 創造的な技能	①意図に応じて材料や用具を生かし、創意工夫して表現することができる。 ②制作の順序などを考えながら、見直しをもって表現することができる。
【鑑】 鑑賞の能力	①感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。

②各題材ごとの評価規準

(描) 描く活動 (つ) つくる活動

学期	題材名等	題材のねらいと学習の内容	評価の観点(規準)
1	i. デザインⅠ「ナイスな椅子」(表・つ)	社会や身近な問題に着目し、デザインを通して、その解決方法を考え、目的や用途に合った椅子をデザインする。	関: デザインによる問題解決に興味・関心をもつ。 発: 形や色の効果を生かして発想し、構想する。 創: 目的に適した検討方法や表現方法を工夫する。 鑑: 問題解決のためのアイデアや伝達方法に注目して作品を鑑賞する。
2	ii. 屏風絵「OH MY 神」(表・描)	琳派の造形の特徴を理解し、そのよさや美しさを味わい、俵谷宗達の風神雷神図屏風をモチーフとした屏風絵を制作する。	関: 琳派の造形のよさや美しさを学び、日本の美術に関心をもつ。 発: 琳派の表現の特徴を考えて、作品を発想・構想する。 創: 材料などの特性を理解し、表現意図に合うように工夫して表現する。 鑑: 琳派の造形の特徴を考え、よさや美しさを味わう。
3	iii. デザインⅡ「このおかし、いとおかし」(表・描)	視覚伝達の機能をもったイラストレーションの意味を理解し、見る人にわかりやすい、ユーモアが感じられるオリジナルのお菓子のパッケージを制作する。	関: イラストレーションの表現について興味・関心をもつ。 発: ユーモアや伝わりやすさを考えて発想し、構想を練る。 創: 伝わりやすい形や色を理解し、表現に適した材料を工夫して表現する。 鑑: イラストレーションの楽しさを味わいながら、そのよさを鑑賞する。